

 シリーズ「きょうだいの思い」 51

## 女医さんの言葉 ～退院の日に～

約10ヶ月の間、私は信頼できる医師に出逢えたおかげで、安心して通院することが出来た。予約をしていても長い待ち時間になることが多かったが、診察室のドアを開けると、必ずこちらに目を向けて「お待たせしてごめんね～」の一言から始まる診察だった。

出産前後の入院中、先生はとても人気があること、それは飾らない人柄と、患者のために親身になる姿勢が理由だと、どの助産師さんからも同じ話を聞いた。私も初診での先生の言葉から『温もりのある心』を十分に感じ取れたので、助産師さん達の話には共感して「私も初対面で、先生の人柄にノックダウンでした」と笑った。

普段の診察から、さりげない心配りや目配りが出来る先生は、私が分娩直後に夫へ言った言葉も聞き逃さなかった。分娩中に母が病院へ来た事を夫から聞いていたが、出生日時が平日の16時過ぎだったので、弟が施設から帰宅する時間が気になった。病院と自宅は近い距離ではないので「早く家に帰るように伝えて」と小声で夫に言うと、先生はわざわざ分娩室の出入口まで赤ちゃんを抱いて、母に会わせてくれたようだ。

退院日の朝、いつものように「おはよう」と病室を覗いてくれる先生と話をした。私が感謝の気持ちを伝えると、普段の先生とは少し違う表情で「●●さんの子供は身近に弟さんがいるから、障がいを持つ人達を色メガネで見ない子に育つと思うよ。私の父はもう亡くなってるけど聴覚障がい者でね。私もごく自然に受け入れてきたから・・・」と話してくれた。初診での先生の言葉は、やはり家族ならではの経験からだスーッと胸に染み込んだ。私は『医師と患者』として近すぎず遠すぎず、また一線を踏み込まない距離を保つのが、先生にとって心地いいはずだと思っていたので、先生の方からプライベートの話をしてくれたことに嬉しくもあった。

退院後の検診で、たまたま先生にお会いした廊下で、私は思わず訊ねてみた。「先生も、ご兄弟がいて『姉』の立場ですか？」と聞くと「兄がいて、私は妹だけだね。特に母親は女の子の私を頼りにすることが多かったから」と話してくれた。私のたった一言の質問の意図を、全て読み取るかのような返答に少しびっくりしたが『きょうだい』としての私自身の経験からも、先生の言葉が意味するものを何となく察することが出来た。そして今、私は同じく『兄妹』の子育てをしていて「特に母親は女の子の私を頼りにすることが多かったから」という先生の言葉をしみじみと感じている(笑) それから約一年後、二人目を授かった私は、迷わず先生の元へ行ったのは言うまでもない(笑)

「●●さーん、お帰りいい！」と明るく迎えてくれる先生は、茶髪にピアス、何も変わってなくてホッとした(笑)

何年か後に、先生は退職されて関東方面の病院に勤めていると聞いた。とても残念だったが、この一期一会の出逢いに感謝している。

そして息子も娘も、先生の勤務時間中に出産できたこと、あらゆる全てのことに「ありがとう」の気持は、あの初診から16年を迎える今でも色褪せていない。

おわり



発行日

2017年6月1日

発行元

自立センター前穂  
〒569-1022  
高槻市日吉台  
1番町21-18  
072-689-8600

 絵画展覧会のお知らせ

6月7日(水)より、前穂ゲストの描かれた絵画の展示を「カフェコットンクラブ」にて開催いたします。今回は高槻市在住の加地英貴さん(国内での個展や、海外でもご活躍のアーティストです)との合同展示です。

力強く、生き生きとした絵をたくさんの方々にご覧頂きたく存じます。

是非、お誘い合わせの上、ご来場の程宜しくお願い申し上げます。

■場所：カフェコットンクラブ【東和町51-8・TEL072-673-7703 医療法人杏仁会・介護老人保健施設ローズマリー】

昼はランチ、夜はライブ、その他イベントなどを楽しめるカフェです！

■期間：6月7日(水)～7月6日(木) ランチ時間まで

